

高機能の設備の導入で 受注機会の損失をなくす

課題

高品質化を目指して 新設備を導入したい

北栄町で特殊機械の部品製造、金属の重切削加工を手がける株式会社 KAM の得意分野は、特殊機械の部品などの試作製造だ。小ロットで、短納期かつ高い精度が求められる試作製造を専門とする事業者が少ないため引き合いが多く、平成 11 年の創業当時、受注はすべて県内企業からだったが、現在は愛知県の自動車部品関連メーカーからの受注が半数以上を占めるに至った。顧客は、自動車用生産設備の部品製造を行う企業、スイッチ・コネクタを製造する企業、携帯電話の部品を製造する企業など多岐にわたる。

環境問題への意識の高まりによって近年、世界中の自動車メーカーが電気自動車の開発を急務として進めている。そこから、製造ラインの大きな変更が進行しており、今後も自動車製造関連部品の需要の増加が見込まれている。しかし、同社が保有する設備では取引先が求める精密な加工に対応できないため受注機会を逸することも多々あった。

また、取締役 1 名と社員 5 名の 6 人体制で製造を行っているが、マンパワーの面でも依頼に追いつかなくなってきた。そこで、生産性と品質向上のために精度の高い大型高回転型マシニングセンタの導入が必須と考え、北栄町商工会に資金計画について相談をもち込んだ。

支援

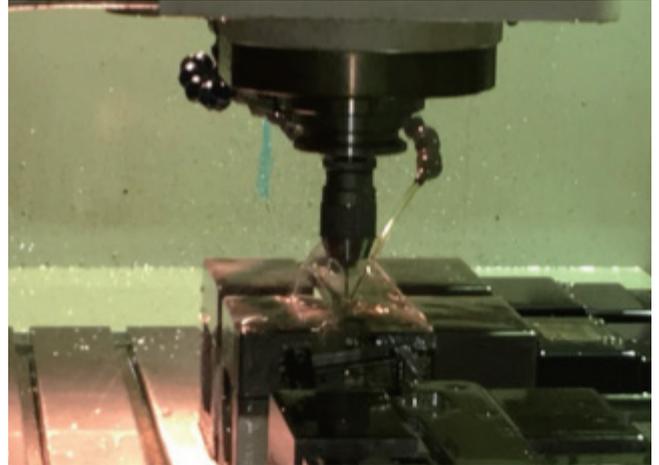
新設備導入で 逃していた受注を獲得

マシニングセンタは 1 台 2000 万円を超える大型設備で、自己資金での導入は困難だ。そこで、鳥取県版経営革新総合支援補助金制度の活用を照準を絞ることにし、まずは申請の必要条件である国の経営力向上計画の認定を受けるための支援に取りかかった。

計画の柱は 3 つ。①機械稼働率の低下を防ぐため、分担制ではなく多能工化に切り替える。②見積額の算出を仕入価格と工賃価格（設計・開発・販売の工程経費）に分けて提示することで過剰な値引き交渉の抑制を図る。③高回転型のマシニングセンタを導入して生産性を高める。

これが認定を受け、県の補助金を申請、採択された。資金はマル経融資を活用し、念願の設備導入を実施した。

新たな高回転マシニングセンタの導入により、高精度で精



製品加工の様子

密な製品の加工が可能となり、生産性も大幅に向上したことから、今まで断らざるをえなかった案件に対応できるようになり、受注は増加。経営力向上計画策定前と比較して、直近の売上高は 67.1% 増を実現した。

重切削加工、軽切削加工に加えて、精密加工切削の受注も可能になったことから、オールラウンダーとしての認知を高め、さらなる受注獲得が見込める状態となった。

同社は今後、事業拡大を図り、安定した経営基盤を確立していきたいと考えている。

支援の経過

期間	支援内容
H28年10月	事業計画のヒアリング
H29年1月	経営力向上計画の申請支援
〃	鳥取県版経営革新総合支援補助金の申請支援
5月	小規模事業者経営改善資金の金融支援
7月	設備導入

会社概要

会社名：株式会社 KAM
 住所：鳥取県東伯郡北栄町亀谷 1541-111
 電話番号：0858-49-1080
 代表者名：代表取締役 加藤武治
 創業年：平成 11 年
 年間売上高：9000 万円（平成 29 年）
 従業員数：5 名
 商工会名・担当者名：北栄町商工会・藤井陽介